

大船渡市職員を募集します

▷問い合わせ先＝総務課人事係(☎内線232)

市は、令和3年度職員採用資格試験を次のとおり実施します。前期・後期日程ともに1次試験では、昨年に引き続きSPI3(総合適性検査)を実施します。

SPI3は、公務員試験対策が不要な出題内容となっており、公務員志望の人だけでなく、民間

企業志望の人もチャレンジしやすくなっています。前期日程の1次試験は、一定期間内に全国の会場で受験できるため、遠方にお住まいの人も受験しやすくなっています。

また、前期日程では「就職氷河期世代」を対象とした募集も行います。

1 職員採用資格試験(前期日程)

▷募集職種・受験資格および採用予定人数

- ・一般事務職員＝平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人、10人程度
 - ・土木技術職員＝平成3年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人で、高等学校、専門学校または大学等における土木専門課程を修了した人または令和4年3月31日までに同課程を修了見込みの人、若干名
 - ・一般事務職員(就職氷河期世代対象)＝昭和45年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた人で、正規雇用労働者として雇用されていない人(※)、若干名
- ※詳しくは市ホームページを確認ください。

▷受験手続きの流れ＝下図のとおり

▷受験手続きの注意事項



リクナビQRコード

受験手続きの流れ

- ①リクナビWebエントリーシステムからエントリーを行う
※郵送や持参による申し込みは受け付けません。
※一般事務職員(就職氷河期世代対象)は、申込方法が異なります。詳しくは市ホームページを確認ください。
- ②大船渡市からエントリーシートの登録依頼メールが届く
- ③4月18日までにエントリーシートを登録
- ④受験案内メールが届く
- ⑤テストセンターを予約し、受験する
※都合の良い日時・会場を指定できます

- ・テストセンターの予約後は、自身で指定した会場でSPI3の1次試験を行います。
- ▷エントリー受付期間＝3月1日(月)～4月18日(日)
- ▷1次試験受験期間＝4月24日(土)～5月16日(日)
- ▷1次試験受験会場＝全国のSPIテストセンターで受験できます。岩手県は、盛岡市の大通会場(クリエイティブビル)です。
- ▷2次試験＝6月中旬に個別面接試験(WE B面接)を行います。
- ▷3次試験＝7月下旬に個別面接試験(会場は大船渡市役所本庁舎)を行います。
- ▷採用予定日＝令和4年4月1日
- ※欠員の状況などによって繰り上げる場合があります。その場合、本人の意向を確認します。
- ▷その他＝詳細は市ホームページを確認ください。

2 職員採用資格試験(後期日程)

- ▷募集職種＝一般事務職員、専門職員
- ▷試験方法
 - 1次試験＝SPI3
 - ※専門職員は専門試験も実施
 - ※1次試験は9月中旬実施予定
 - 2・3次試験＝個別面接試験
- ▷採用予定日＝令和4年4月1日
- ▷その他＝前期日程の1次試験を受験した人は、後期日程の同じ職種を受験できません。また、後期日程の募集職種、人数、受験資格などの詳細は、7月中旬に公表予定です。

(5) 広報大船渡 令和3年3月5日号(No. 1194)

▷問い合わせ＝市役所☎0192@3111

「復興後のまちづくり」に向けた市政懇談会」での提言等の対応状況

▽問い合わせ先Ⅱ秘書広報課(☎内線210)

7月16日から8月24日まで、市内11地区で開催した「復興後のまちづくりに向けた市政懇談会」で市民の皆さんから、まちづくりに関する多くの意見・提言等をいただきました。

懇談会のテーマでありました、令和3年度を初年度とする新たな市総合計画の策定も最終段階を迎えている中、いただいた意見・提言等にかかる市の対応状況(市の基本的な考え方・方向性等)をまとめましたので、反映区分【表1】と対応状況の一例を紹介いたします。

対応状況の詳細は、市ホームページに掲載しています。

▽人口減少問題について

【発言】人口減少が大きな問題になっており、子どもが増

えることが大事である。年少人口に関して具体的な目標はあるか。

【状況】大船渡市人口ビジョンの将来人口推計において、合計特殊出生率の一つの条件に設定しており、令和7年に1・80、令和12年に2・10を維持することを目標としている。

市まち・ひと・しごと創生総合戦略を始め、関連計画と連携した各種子育て支援施策を総合的に展開している。

▽特色ある義務教育の実施について

【発言】義務教育の内容を他市町村と差別化し、特色ある教育をすべきである。

【状況】本市では、中学生の英

語検定手数料の助成や、小学校から英語に親しむ環境を整えるためALTを配置するなど、英語力向上に力を入れている。

また、自然災害から命を守ることや震災からの復興など、学年に応じた防災・復興教育に取り組むなど、特色ある教育を行っている。

▽子どもの文化活動について

【発言】市立図書館では、あまり親子の姿が見られない。もっと考えてほしい。

また、館員も来館者とながら、読書活動を深めてほしい。

【状況】今年度、図書館において、子どもや親子を対象に

した事業として、「おはなしパレード」や「ブックスタート」を始め、「夜の図書館おはなし会」、「おたのしみ親子劇場」のほか、時節や流行、イベントに関連した子ども向け図書の展示などを実施している。

子どもを中心とした事業に加え、親世代などさまざまな世代を対象とした読書推進事業にも取り組みながら、市民が親しみ、身近に感じられるような図書館運営を推進する。

▽大雨による土砂災害の対策について

【発言】近年、大雨による土砂災害が日本中で発生しているが、この災害に対するハザードマップは作成しているか。

【状況】昨年度、県において盛川水系の洪水浸水想定区域が公表されるとともに、土砂災害警戒区域等の指定に係る基礎調査が完了したことから、今年度、水害ハザードマップの作成に取り組みしており、完成後には、各世帯に配布していく。

【表1】意見・提言等にかかる反映区分

提言者数	提言等件数	提言等の反映区分				
		A	B	C	D	E
100人	173件	34件	69件	44件	6件	26件

■反映区分の表示 ※提言等件数と反映区分の合計は一致しません
 A：実現したもの(着手したものを含む)
 B：実現に努力しているもの C：中・長期的な検討が必要なもの
 D：実現が極めて困難なもの E：分類不能なもの(質問など)



(4)